

## 令和元年度第1回会議海老名市介護保険運営協議会 結果

日 時：令和元年5月28日（火）

午後1時30分～午後3時00分

場 所：海老名市役所7階 703会議室

出席委員 13名（欠席1名）

石渡副会長、大熊委員、山田委員、大濱委員、窪倉委員、石井委員、浦野委員、  
田中委員、鈴木委員、岩崎委員、川田委員、勝田委員、小野寺委員

事務局（保健福祉部） 7名

江成保健福祉部長、小松保健福祉部次長、小黒介護保険課長、安本地域包括ケ  
ア推進課長補佐、田中主幹兼地域包括ケア推進係長、三輪介護保険係長、川瀬  
主査

### 1 開 会 （司会：小黒介護保険課長）

※高橋会長が急きょ所用により欠席である旨伝達

### 2 委嘱状交付

※江成部長から、石渡新副会長（海老名市歯科医師会推薦）へ委嘱状を交付

### 3 あいさつ

江成部長：

4月1日付の人事異動で橋本前部長のあとを受け、保健福祉部長を拝命しました  
江成でございます。

本日は、ご多用のところ、介護保険運営協議会にご出席賜り、ありがとうございます。  
また、委員の皆さまにおかれましては、日頃から、高齢者保健福祉行政にご  
理解と協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

介護保険制度は、高齢者の暮らしを支えるものとして、創設以来着実に定着して  
いる制度です。4月1日現在の要介護認定者は4,427人で、高齢者の方の13%を超  
える方が認定されております。

要介護認定者が増加する一方、介護の担い手が不足していくという状況の中、国  
では、介護予防・健康づくりの推進、保険者機能の強化、地域包括ケアシステム及  
び認知症「共生」・「予防」の推進、持続可能な制度の再構築・介護現場の革新につ  
いて、横断的に議論していくことが必要であるとしております。

市といたしましても、高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で可能な限り生活できるよう地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組み、医療と介護の連携強化、認知症高齢者に対する支援など、高齢者が安心して暮らせる介護保険制度となるよう、介護基盤整備の推進と健全な財政運営に努めてまいります。

本年は第7期介護保険事業計画の2年目となります。委員各位におかれましては、様々なお立場からご意見を賜りたいと思います。元号が令和になり初めて開催される運営協議会です。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

石渡副会長：

お忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

本日は、令和になって初開催となります、令和元年度第1回目の介護保険運営協議会でございます。

ひと昔前は、介護とは家族がするもの、という考え方が伝統的なものでありましたけれども、ご承知のとおり介護保険制度が2000年に創設され、人生の最期を社会全体で支える仕組みとして、定着してきました。

しかし、団塊の世代が次々後期高齢者となり、さらに人生百年時代、超高齢化社会を迎えつつあることを身の周りからも実感しております。介護分野における急激な人材不足など、介護保険制度においては問題が山積している状況です。この解決については、地域包括ケアを基盤とし、地域の実情にあわせて地域で知恵を出し合うほかに方法はないと考えております。

本日は、さまざまな視点から忌憚のないご意見をいただき、海老名らしい介護保険制度の運営をしていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(江成部長および小松次長、公務により退席)

#### 4 議 題 (進行：石渡副会長)

##### (1) 海老名市介護運営協議会の年間スケジュールについて (三輪係長)

- ・今年度の介護保険運営協議会運営協議会の開催は、3回(5月、10月、2月開催)としたい  
なお、3年に1度の介護保険事業計画の改定年(令和2年度が該当)には、介護保険料に関する審議、諮問・答申が行われるため、年5回の開催予定である
- ・今後の会議の内容については、  
第2回目(10月予定) 平成30年度介護保険実施状況について  
第3回目(2月予定) サービス見込量の進捗管理について  
その他 サービス事業者の指定申請や指定更新 などを随時

(質疑等なし)

(2) 海老名市介護保険施設等公募選定委員会について（三輪係長）

- ・第7期介護保険事業計画において、地域密着型サービスについて、整備目標と整備量を定めており、この計画に基づいて整備を進めるため、開設運営事業者を公募方式によって募集する
- ・事業計画においては、認知症対応型共同生活介護2ユニットを2施設、小規模多機能型居宅介護を1施設、さらには、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を1施設、整備することとなっている
- ・地域密着型サービスの選定状況について、認知症対応型共同生活介護については、法人名はアツギケア株式会社、施設名はアツギケアグループホーム、整備予定地は大谷字島廻 259-2 外、定員は18名（2ユニット）、開設時期は令和2年2月  
もう1施設は、法人名は株式会社ハートフルケア、施設名はプラチナホーム海老名、整備予定地は扇町4-6、定員は18名（2ユニット）、開設時期は令和元年9月
- ・次に小規模多機能型居宅介護について、法人名は株式会社ハートフルケア、施設名はプラチナコミュニティ海老名、整備予定地は扇町4-6、登録（利用）定員は29名（18名）、開設時期は令和元年11月以降
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、平成30年度中に公募をするも応募がなく、現在、必要整備数に達していないため、今年度（令和元年度）中に再募集する予定  
予定募集期間について、募集は、必要整備数の選定を満たした時点で終了とし、第1回の募集期間を7月1日～7月31日、選定期間を8月中旬～下旬、選定結果発表8月下旬、第2回の募集期間を9月2日～10月1日、選定期間を10月中旬～下旬、選定結果発表を10月下旬、第3回の募集期間を11月1日～12月28日、選定期間を1月中旬～下旬、選定結果発表を1月下旬とする予定
- ・募集要件は、1 法人格を有すること（役員等に暴力団員に該当する者がいないこと）2 市税等に滞納がないこと、3 指定基準を満たすこと等としたい。事業者選定の方法については、「海老名市介護保険施設等公募選定委員会」を設置し、設置事業者候補を選定する
- ・審査は、サービス毎に書類とヒアリングにより実施し事業に対する考え方や計画内容について総合的に判断するため、併設を希望して応募した事業者に関しても、一方のサービスが選定されない可能性がある。事業者は、選定委

員会の審査を踏まえ、最終的に市長が決定する

- ・選定委員会委員（5名）については、医師会・歯科医師会・社協・民児協・介護保険運営協議会へ依頼させていただきたいと考えているので、公募があり次第、あらためてご協議願いたい

(質疑等)

委員：定期巡回・随時対応型訪問介護看護について、公募をかけて応募があり次第、しかるべき日数をかけて委員会で選定していくということによろしいか。

事務局：お見込みのとおり。

### (3) 地域密着型サービス事業者の指定について（三輪係長）

- ・第7期海老名市介護保険事業計画におけるグループホームの整備事業者として選定された事業者から指定の申請があったので、協議させていただきたい
- ・今回、指定を受けようとする事業所は、プラチナホーム海老名。申請者は、株式会社ハートフルケア 代表取締役 森永（もりなが）晃夫（てるお）事業所の所在地は、海老名市扇町4番6号
- ・指定を受けようとするサービス内容は、認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護。住居数は18戸の2ユニットで、事業開始予定日は令和元年9月1日
- ・指定の有効期間は、令和7年8月31日までの向こう6年間
- ・従業員の職種・員数は共同生活住居①の常勤の兼務が5名、非常勤兼務が1名で、常勤換算は5.6人。共同生活住居②については、常勤の兼務が5名、非常勤兼務が2名で、常勤換算は5.7人。計画作成担当者は兼務2名
- ・協力医療機関については、湘陽かしわ台病院と系列の大和ホームクリニック。歯科医については、現在、市内の歯科と調整中
- ・代表者、管理者、計画作成担当者とも必要とされる研修を修了し、資格要件を満たしている。介護従事者については、常勤換算後の人数は1ユニット当たり9人で算出すると3以上であり、両ユニットともに基準を満たしている
- ・設備について、設計図面によるものだがサービスを行う上で必要な設備は

整っている。ユニット数は2で、1ユニットあたりの定員は9名。居室については、1階に9室、2階に9室の計18室で、広さは7.55㎡または7.62㎡で基準の7.43㎡以上ある

- ・台所は、1階と2階にそれぞれ設置し、アイランドキッチンで食堂や居間の様子を伺うことが可能なレイアウトとなる。IHクッキングヒーターも採用する予定で、空気を汚すことなく、火災の心配も少ないものと思われる
- ・浴室も、1階と2階にそれぞれ1つずつ計2カ所に設置
- ・トイレは1階と2階にそれぞれ3カ所の計6カ所で、車椅子対応。基準で、概ね3室に1カ所としており、基準は満たしている
- ・消防設備については、非常災害設備の自火報やスプリンクラー、消火器等が基準どおり設置される
- ・現在、計画どおり順調に工事は進み、躯体ができている状況であり、9月1日に開設できるのではないかと考える
- ・設備に関しては、今後、建物が完成したら、実際、現地へ赴き確認したい
- ・利用料金については、詳細を詰めている段階
- ・今回の事業者は、海老名市のほかに県内において横浜市青葉区で3カ所、川崎市宮前区で1カ所、グループホームを運営しており、実績、経験は十分と考える
- ・申請のとおり指定したいため、ご協議願いたい

(質疑等なし)

#### (4) 平成30年度地域包括支援センターの活動状況について (田中主幹兼係長)

- ・市内には、各地区を担当する6カ所の地域包括支援センターと、各包括をバックアップする基幹型地域包括支援センターがある
- ・地域包括支援センターの業務については、地域住民の健康保険医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため、①介護予防ケアマネジメント事業 ②総合相談・支援事業 ③権利擁護事業 ④包括的・継続的ケアマネジメント

ト事業の4つの事業を主に、地域において一体的に実施する役割を担っている

- ・平成30年度の活動実績としては、利用者実数が6,476人、延べ利用者数が33,222人（昨年比1.1倍）、延べ相談件数が47,229件（同0.8倍）となっている
- ・各支援センターに認知症地域支援推進員を配置（増員ではない）し、認知症施策の推進と初期集中支援チームの活動を行った
- ・平成30年度のトピックスとしては、基幹型包括の開設。各包括支援センターの統括、総合調整、後方支援などの役割を担っている。保健師、社会福祉士、主任ケアマネの3人を配置し、各包括が直面している困難事例への支援や各包括が集う地域包括連絡会議を主催するなどの活動を行っている

（質疑等なし）

#### （5）その他

事務局：次回は10月の開催とさせていただきたい。日程については、あらためて9月に通知する予定である。

委員：先ほど来から話のある介護人材の確保について、要望させていただきたい。

外国人材受け入れ、働き方改革、定年の延長、年金支給開始の延期、人口減少など様々言われている中で、介護人材の確保をどのようにしたらよいか。

例えば三重県では、平成27年度から地域の元気な高齢者を介護助手として育成し、介護現場への就職を支援する取り組みを行っている。私の身の周りにも、70歳を超えていても働けそうな人がいる。パソコンや料理などが得意な高齢者もいるので、そういった人に介護事業に積極的にかかわってもらえたらと考える。本人の介護予防にもなる。介護資格がある人もない人も、戦力になれる。

高齢者人材の取り込みについて、検討してもらえたらと思う。

副会長：高齢者の人材確保について、介護保険課、地域包括ケア推進課で何か情報を持っていたら教えていただきたい。

事務局：高齢者の就労については、主にシルバー人材センターにお願いしている

ところだが、委員が言われたような部分で、切り分けてお願いできるものがあればメニュー化してやりたい人にやってもらう、ということは今後できる可能性があると思う。元気な人に他者の世話をしてもらうことで自分自身の介護予防につながるような事業も検討しているが、しくみとして作ることがまだできていないところ。各地域の包括支援センターで、自分たちの地域の中でどんなことができるかを話し合っている段階。他市でもなかなかできていない部分であると思う。

副会長：これは非常に重要なことであると思う。地域包括ケア推進課とシルバー人材センターとで話し合いを持つことで、できる部分が出てくるのではないかと考える。ぜひ、進めて行っていただきたい。

## 5 閉 会 （石渡副会長）

介護することは重要ですが、介護を予防していく、ということも重要です。海老名歯科医師会では全身の虚弱は口から始まるということをテーマに、この4月1日からオーラルフレイル健診を開始しています。口の虚弱を遅らせることで、健康寿命を延ばしていく。介護予防につながる取り組みとして、よろしく願います。

以上をもちまして、令和元年度第1回介護保険運営協議会を閉会します。  
お疲れ様でした。ありがとうございました。